

# 青工研かわら版 9月号 vol 2



## 第2ブロック 第6回 ブロック会

テーマ **己に克て！5～過去を振り返り、学び経験を未来に繋げ！～**

開催日 2022年9月21日  
時間 19:00～21:40  
開催場所 商工会館  
担当者① 浦上裕生 (菊屋浦上商事株式会社)  
<http://www.kikuya-net.co.jp/>  
担当者② 田邊直人 (小林工塗株式会社)  
<https://kobayashikoto.co.jp/>

### ブロック会の目的と手段


本ブロック会では、自社の経営の土台を更に固める切っ掛けを得る事を目的に行われました。

それぞれの担当者が「青工研活動で得た学び・経験」と「今後の展望」の発表を行い、質疑応答が行われました。

#### 自社として目指していくもの

17 SDGsモデルのプログラム作り  
「自分たちが提供しているものの価値」を見出す

**持続可能性**  
各メーカー・各団体との協力をテンプレート化し発信と教育を行う



②自社の未来像  
—「下請け」から脱却し「提案型」の塗装会社へ—



富岡かみ DOVER STORE MARKET FORTER PUREN

### ブロック員からの意見と質疑応答

ブロック会では、担当者（企画者）に対して以下のような意見と質疑がありました。

#### 担当者（企画者）① 浦上裕生へ

意見 「浦上さんにはプロデューサーが必要」  
質疑 「メディア露出がどう仕事に繋がっているのか？」  
「具体的に今後は何をするのか？」

#### 担当者（企画者）② 田邊直人へ

意見 「主体性がない」  
「経営者の目線ではない」等  
質疑 「時間を大切に考えているのか？」  
「本気で経営者になりたいのか？」  
「今、幸せなのか？」



## ブロック会での担当者まとめ 宣言内容

担当者（企画者）から未来に向けて以下の内容を宣言してブロック会は終了しました。

### 担当者（企画者）① 浦上裕生

「これまで思いつかなかった事に挑戦したい」  
「次の事業構想を練っていく」

### 担当者（企画者）② 田邊直人

「自己中になる」  
「決断」  
「家族に社長になる事を話す」



## ブロック会を終えて

個性の違う二人の過去の経験と未来に向けての指針は、担当者だけではなく、ブロック員にとっても大きな学びになりました。



## 担当者（企画者）からブロック会を終えて

### 担当者（企画者）① 浦上裕生

プレゼンにおける時間配分に課題を残したが、内容としては聞き手側の興味を惹き起こせる内容であったと自負しています。



しかし、ブロック会での質疑応答について、仕事観におけるイメージの相違が生じた部分は、私自身の回答が的確であったとは言えず、曖昧となっていた事は大いに反省しています。

今後は伝え方の工夫により、自身の想いと聞き手の受け取りのギャップにも配慮できるプレゼンを行います。

過去の活動における振り返りを行った事で、自身の目指す方向も固まったと感じました。

新たな事業構想においては、更なるブラッシュアップを引き続き行い、自社の強みを活かした展開を目指します。

### 担当者（企画者）② 田邊直人

事前配布資料と発表内容が重複し、参加者の時間を無駄にしまった事は反省点として今後活かして行きます。



また、ブロック会での質疑応答において、「主体性」「本気」「決断」「自身の幸せ」と言った、今の自分に足りない部分に気付く事が出来ました。

未来の自身・自社を実現する為に、まずは自身が社長になる為に2年というリミットを決め、社長になる事を宣言します。

また自身のモチベーションを見出し、主体性を持って行動していきます。

## 記者としての感想

記者：波多野佑典

個性の違う2人が過去に青工研でどのような事を学んだのかについて、興味深く聞く事が出来ました。

同じ青工研に所属していても異なる学びがあり、興味深いと感じました。

今後の2人の未来がどのような様になるのか楽しみです。